

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	ユネスコ会議関係共通経費		事業開始年度	昭和27年度		作成責任者
担当部局庁	国際統括官付		担当課室	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司
会計区分	一般会計		上位政策	国際協力の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)主催の国際会議に出席し、我が国が必要な提案や発言等を行うことで、ユネスコ活動への積極的な貢献を果たす。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ユネスコでは定例の国際会議(ユネスコ総会、執行委員会等)の他、教育、科学、文化、コミュニケーションに係る国際会議を各国の希望に基づき、当該国がホストする形で不定期に開催している。本経費は、これらの国際会議への出席に必要な経費である。					
実施状況	平成21年度は次の国際会議が開催され、関係者が出席した。ESD世界会議(3月~4月)、ユネスコ執行委員会(2回:4月、11月)、信託基金レビュー会合(3回:6月(2回)、7月)、ユネスコ総会(10月)、世界科学フォーラム(11月)。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	18	18	17	17	17
	執行額	14	16	15		
	執行率	77.8%	88.9%	88.2%		
	総事業費(執行ベース)	14	16	15		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	国際会議の日程と議題を確認し、必要な出席期間を精査の上、出席に係る外国旅費等の支払いを適切に行っている。また四半期を目処に予算の各事項別支出状況の把握に努めている。				
	見直しの余地	ユネスコ主催の国際会議において、我が国が必要な提案や発言等を行いユネスコ事業に関する影響力を持ち続けるために、平成22年度以降においても引き続き、本事業予算を適切に執行してまいりたい。				
予算監視の効率化	1. 事業評価の観点：この事業は、ユネスコが開催する定例及び不定期の国際会議に出席することを目的として昭和27年度から行われる長期継続事業である。今回は事務的経費であることについて検証を行った。 2. 所見：この事業は所掌する行政事務を推進するために必要な経費であるが、納税者の視点に立って、引き続き効率化に努め、予算を縮減すべきである。					
補記						

ユネスコ会議関係共通経費

A. 文部科学省 15百万円

政府開発援助庁費	5百万円
政府開発援助外国旅費	5百万円
外国旅費	2百万円
庁費	2百万円
政府開発援助諸謝金	1百万円
その他	0.1百万円

ユネスコの定例の国際会議(ユネスコ総会、執行委員会等)及びその他教育、科学、文化、コミュニケーションに係る国際会議に出席。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
政府開発援助 助弁費	アジア地域対象のユネスコ会議開催に必要な会議費等	5			
政府開発援助 助外国旅費	途上国協力に関するユネスコ会議出席に係る外国旅費	5			
外国旅費	ユネスコ会議出席に係る外国旅費	2			
弁費	ユネスコ会議開催に必要な会議費等	2			
政府開発援助 助諸謝金	ユネスコ会議出席に係る通訳・翻訳料等	1			
その他	職員旅費、政府開発援助委員等旅費	0.1			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)